



概要

伊達市では、高齢化率が上昇しており、高齢者等の外出支援が課題となっているほか、中心市街地の活性化、郊外の循環路線バスの赤字が課題となっている。このため、中心市街地における電動スクーターの導入による高齢者等のモビリティの向上、郊外における循環路線バスの効率化等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(有珠駅、長和駅、伊達紋別駅、北舟岡駅、稀府駅、黄金駅)
- ・(株)道南バス
- ・高齢者向け会員制乗合タクシー

地域公共交通の課題

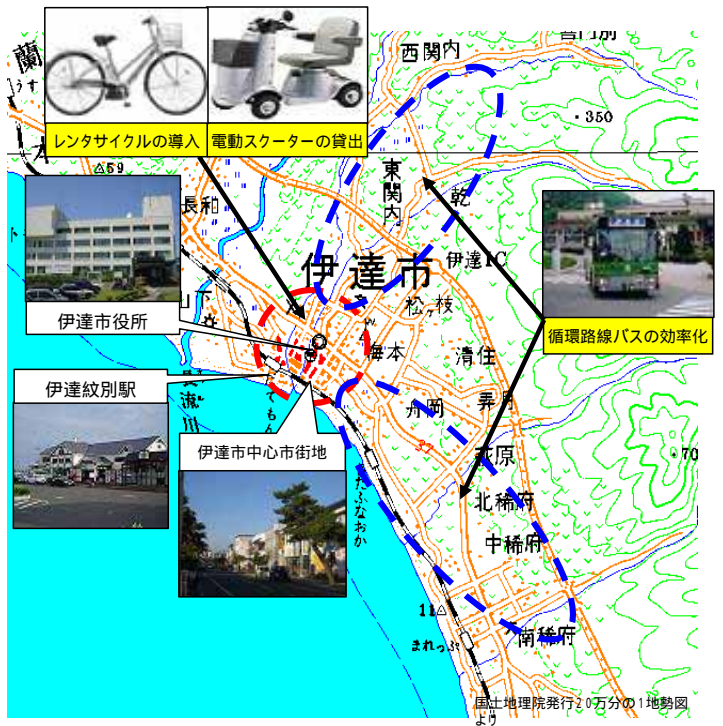
- ・高齢者等の外出支援の必要性
- ・中心市街地の活性化(モビリティの向上)
- ・郊外の循環路線バスが赤字

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・中心市街地における電動スクーター貸出、レンタサイクルの試験導入

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・中心市街地における電動スクーター貸出、レンタサイクル導入の検討
- ・循環路線バスの効率化の検討



伊達市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は H21.1.30現在

現況交通実態調査

・各種統計資料による各地区の人口構成、公共交通の運行・施設立地状況調査及びOD調査(H20.10・12月)により市内路線バスの利用状況調査を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・バス路線沿線地区対象のバスに関するアンケート(H21.11月)及びタウンモビリティ実証実験参加者ヒアリング(H20.10.17)を実施。

中心市街地における電動スクーター貸出、レンタサイクルの試験導入

・市街地において電動スクーターの貸出を行なうタウンモビリティ実証実験を実施。(H20.9.16~10.10、参加延べ8名)

その他の調査等

・交通流量調査として、JR伊達紋別駅付近などにて、通行者へのヒアリングを実施。(H20.10.17)

予定している連携計画の内容

中心市街地における電動スクーター貸出、レンタサイクル導入の検討(実施主体:検討中、実施時期:H22実施を目処に検討)

・バス等の公共交通を利用して中心市街地を訪れた高齢者等に対して、電動カートを貸出し、まちなか移動をサポートすることにより、公共交通の利用促進と中心市街地の賑わいを創出。

循環路線バスの効率化の検討(実施主体:道南バス(株)、実施時期:H21実施を目処に検討)

・市内循環バス路線(3系統)について、利便性の向上と赤字額の縮減を図るため、路線・ダイヤ等について見直しを図る。

自己評価のポイント

乗降調査、アンケート調査、電動スクーター貸出・レンタサイクルの試験導入等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価のポイント

事業の実施に向けて、事業内容等についてさらに具体的に検討するようアドバイスする。